

介護士段階別育成研修、キャリアアップシステム

社会福祉法人 あいの土山福祉会

住所/TEL 滋賀県甲賀市土山町北土山2062 / 0748-66-1911

URL/E-mail <http://www.edeltutiyama.com> / e-mail : t.hirooka@edeltutiyama.com

経営理念 エーデル土山は高齢者福祉の拠点であり、そのシンボルとなるものです。多くの人達が集い、ふれあい、支え合うことのできる空間です。『至誠』をもって明るく楽しく開かれた施設をモットーに何事にも取り組んでいきます。

事業内容及び定員 特別養護老人ホーム（60名）1か所
グループホーム（5名）1か所
ショートステイ（5名）1か所
デイサービス（25名）1か所
ケアプランセンター

収入 (法人全体) 平成20年度決算	①社会福祉事業	384,887,751円
	②公益事業	0円
	③収益事業	0円
	合計	384,887,751円

従業員数
(法人全体) 67名（非常勤含む）

当面する経営課題

- ・「介護職員処遇改善交付金」受給の賃金、処遇改善対策の策定
- ・キャリアパスシステムの構築
- ・当施設独自の財務分析ソフト制作

発表する取組みに着手した理由、背景

当施設はスタッフの平均年齢が27歳と若く介護福祉士保有率は6割程度である。職員の離職に苦しんだ時期もあったが、組織体制の見直し、職場環境の改善等に努めることでスタッフの定着化が大幅にアップし、ようやく安定継続したケアが行えるようになってきた。しかし各々のスタッフが本当にプロフェッショナルとしての知識や技術、また介護福祉士のプライドを持っているのかということではなかった。日常の業務を無事に終わらせることを目的化しており自己成長や遣り甲斐を感じるには至っていなかった。職場環境を整備し働きやすい職場を整備した上で次のステップとして取り組むべきは「チーム力のアップ・個人のレベルアップ」と考えた。施設がスタッフ育成に真剣に取り組むことでスタッフが介護職としてのレベルアップと仕事に遣り甲斐や喜びを今以上に感じる事が出来れば結果として利用者の暮らしが向上することに繋がっていくと確信したからである。

従来までも施設内で研修はしていたものの単発で終わることもあり、なかなか実践に反映されてこなかった。また研修体系もしっかりと構築されておらず研修（育成）担当者も決めていなかった。

そこで今年度より「アドバンスシステム」という施設内育成プログラムを作成し継続的に研修が行えるようにした。

発表する取組みの現時点での効果

当施設独自の育成プログラム「アドバンスシステム」が稼動して半年が経過した。当初の計画通り研修は進んでおり以下のような効果が出てきた。

- ・モラルや仕事に対する態度に向上が見られる。
- ・知識、技術のみならずルール順守や方向性が統一できてきた。
- ・学習することが当たり前の環境になりつつある。

Careworker advance system 2009
produce by Edel tutiyama.com

Edel PRIDE

教育理念

地域福祉、高齢化社会の一翼を担い続けていくために、高い技術と知識を身につけ社会に貢献できる人間育成に努める。

教育目的

介護の専門職として主体性、自立性を持ち、質の高い介護サービスを提供できる人材を育成する。

教育目標

1. 組織の一員として立場と役割を認識し、責任のある行動がとれる。
2. 施設福祉部の一員としての自覚をもち、良い人間関係を保てる。
3. 高い判断力、問題解決能力を身につける。
4. 介護に対して自信とプライドを持ち、プロフェッショナルとして仕事に臨める。
5. 介護福祉士(ケアワーカー)が仕事に対する充実感、満足感、喜びを持てる。

アドバンスシステム

エーデル土山が介護福祉士(ケアワーカー)を対象に行う教育システム。アドバンスとは『成長』を意味し、全職員が介護分野においての『真のプロフェッショナル』を目指すこと、また一社会として充実した人生が送れることに目標を置きます。介護分野は医療に比べ、歴史自体が浅く教育体系も確立されていません。また、老人の命を預る尊い仕事であるにも関わらず、知識や技術は曖昧なことが多いため、社会的な地位の低さにも繋がっているのが現実です。これらの問題をクリアして次のステージに進むには、努力と研鑽をおいて他にはありません。

チームケアとして『チームの力』をレベルアップする。そのためには介護士一人一人の『個の力』を伸ばす必要があります。ケアワーカーアドバンスシステムは、アドバンスステップという1~6段階のステップに分かれており、それぞれのステップに応じた介護実践や能力開発のプログラムを用意しています。専門職としての知識や技術を身につけていく為の教育体制と機会をここに、構築します。

アドバンスシステムの特徴

アドバンスシステムは、新人(ビギナー)からプレミアムへと段階を踏んで介護実践能力を育成するシステムです。従来までの研修システムではカバーしきれなかった専門的な知識、技術を各階層に応じたカリキュラムにより効率よく学習できます。

Advance step/ アドバンスステップ

アドバンスステップ	経験値
①Biggner ビギナー	新人職員
②Bacic ベーシック	2年目~3年目
③Middle ミドル	4年目~中堅
④Master マスター	リーダークラス
⑤Expert エキスパート	主任・リーダークラス
⑥Premium プレミアム	達人

アドバンス項目とは？

介護福祉士に必要な能力を項目化したもので、以下の4つを指す。

項目ごとの能力を伸ばすことにより、『総合的に完成された質の高い介護福祉士』を目指す。

①介護実践能力
②介護倫理
③管理能力(組織的役割・タイム・コスト・リスクマネジメント・対人関係能力)
④教育・研究能力

アソシエイトの配置

アソシエイトとは、アドバンスシステムの運営管理責任者であり教育者のことを指します。

研修カリキュラム及びスケジュールは、アソシエイトの元に考案され実施されます。

クールごとに各自と学習内容についての振り返りと、今後の展望について面談を持ちます。

アドバンスシステムの実施

① 計画

- ・ アソシエイトと介護士による目標設定。(3月・1年をⅢクールにわけ、クールごとの目標設定)
- ・ アドバンスステップ到達目標、年間スケジュールの説明と理解。
- ・ 目標シートには①各ステップの目標 ②施設福祉部の役割目標 ③個人レベルの目標をそれぞれ設定する。

② 実行

- ・ アドバンスステップごとの年間スケジュールに基づいたカリキュラム開始。
- ・ 演習、レポート課題提出。
- ・ クール別評価表記入。

③ 評価

- ・ アソシエイトとの個人面談と評価。(Ⅰクール終了毎に行う)
- ・ Ⅲクール終了後には、ステップアップ検定あり。

ステップアップ検定

アドバンスステップのⅢクール終了時点(3月上旬)にステップアップ検定を行います。これは、アドバンス項目ごとの設定課題をクリアできているかを公平、公正かつ確実に評価するものです。

検定は『実務・学課』とわかれており双方共に合格点を満たしていることが求められます。

看護リケア	看護リケアに関する専門プログラム。看取りの開始から死後の処置、遺体搬送に至るまでのケアについて深く考察する。
リスクマネージャー	リスクマネージャー養成コース。危機管理や事故防止について学ぶ。将来的にリスクマネージャーとして配置できるよう学んでいく。
教育・研修	ケアワーカーに対する施設内勉強会や研修を企画、開催する専門のコース。グループワークやアイスカッションを総合的に学習する。パワーポイントの使用手法や、勉強会の進め方を学ぶ。
介護研究	介護分野全般において研究していく。一つ一つの事例に対して研究し、倫理観をロジカルに構築し文書にまとめることを目標とする。
ユニットケア	ユニットケアについて学ぶ専門コース。ユニットケアの導入からメリット、デメリットについて学習する。実際の実践においても段階的に導入していく。
認知症	認知症について専門的に学習していく。認知症の理解、対象者へのケアアプローチを総合的に学習する。

専門プログラム選考



教育研究能力
管理能力（リスク・組織役割遂行・タイム・コスト・対人）
介護論理
介護実践能力

P r e m i u m	自己の学習活動はもとより組織的な教育・研究活動を主体的に実践できる。管轄部署、法人を越えて活動を行うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・労務管理研修 ・リーダーシップ研修(外部) ・専門プログラム選考 ・外部講師派遣
	主任・リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・急変時研修 ・リーダーシップ研修Ⅲ ・メンテナンズ研修Ⅱ ・研修企画・開催 ・モラル向上トレーニング ・専門プログラム選考 ・研修企画検討・開催
M a s t e r	高度な介護実践ができ、かつ他者に取組める。指導的な役割を發揮できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・急変時研修 ・リーダーシップ研修Ⅱ ・メンテナンズ研修 ・研修企画・開催 ・モラル向上トレーニング ・専門プログラム選考 ・研修企画検討・開催
	中堅	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士基礎研修 ・ケアプラン学習研修Ⅱ ・リスクマネージメント研修Ⅰ・Ⅱ ・急変時研修 ・リーダーシップ研修Ⅰ ・チームワーク論Ⅱ ・メンテナンズ研修 ・アサーティブトレーニング ・モラル向上トレーニング
B a c c	2年目～3年目職員としてプリセプターを目指し、1人前の介護実践ができる。日勤、夜勤リーダーを確実に実践できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士基礎研修Ⅰ ・ケアプラン学習研修Ⅰ ・リスクマネージメント研修Ⅰ・Ⅱ ・夜勤リーダー研修 ・日勤リーダー研修 ・急変時研修 ・個別判断向上研修 ・感染症学習 ・チームワーク論Ⅰ ・プリセプター養成研修Ⅰ・Ⅱ ・新人研修
	新人・1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・プリセプター研修 ・ケアプラン勉強会 ・モラル向上トレーニング

アドバンスレベルの目標

教育プログラム

Advance step

Advance step	Beginner/ビギナー 新人職員	Basic/ベーシック 2年目～3年目	Middle/ミドル 中堅	Master/マスター リーダークラス	Expert/エキスパート リーダー・主任クラス	Premium/プレミアム 達人
最終到達目標	指導や教育を受けながら安全・確実な介護実践を行うことができる。	2年目職員として、PSを自指し人前の介護実践ができる。日動・夜勤リーダーの役割を確実に実践できる。	高度な介護実践ができ、かつ他者にモデルを示すことができる。チームリーダーの役割や責務を遂行できる。	①予測を踏まえ介入計画ができ長期的展望にたつた介入が実践できる。 ②緊急時を予測した対応がとれ、共に緊急時による確かな対応がとれる。 ③事例困難ケースの処遇についても積極的にケアを展開できる。 ④利用者家族と目標を共有し、個別性ある介入が実践できる。 ⑤適切な倫理感をもち自己の考えを述べることができる。	①緊急時、リーダーシップを発揮し、他の職員と共に協働して対応することができる。 ②社会情勢の変化をえとえ自らの役割を自覚し行動できる。 ③規則に基づいた技術を持ち、新しい介護の知見や技術についても積極的に学ぶことができる。	自己の学習活動はもとより組織的な教育・研究活動を主体的に実践できる。監督・調整、法人を超えて活動することができる。
介護実践能力	①指導を受けながら、基本的な介護技術が習得できる。 ②各勤務帯業務を滞りなく、こなせるようになる。(リーダー以外) ③変則勤務の介護業務に応じて、生活時間及び休調を整えることができる。	①ケアプランに合った介護を展開できる。 ②利用者を受け持ち、担当として責任を持つ。 ③日動・夜勤リーダーとして自立できる。 ④急変時に沉着して確実な判断ができる。 ⑤セルフアセスメント、ミーティングにて積極的に関与できる。 ⑥個別判断が的確にできる。	①その時々に応じた判断能力が向上し、確かな対応がとれる。 ②個別ニーズに即したケアプランの立案と実行ができる。 ③介護技術がモデルとなる水準に達している。 ④自己の介護観について述べることで、異なる介護観を共有し、個別性ある介入が実践できる。	①予測を踏まえ介入計画ができ長期的展望にたつた介入が実践できる。 ②緊急時を予測した対応がとれ、共に緊急時による確かな対応がとれる。 ③事例困難ケースの処遇についても積極的にケアを展開できる。 ④利用者家族と目標を共有し、個別性ある介入が実践できる。 ⑤適切な倫理感をもち自己の考えを述べることができる。	①緊急時、リーダーシップを発揮し、他の職員と共に協働して対応することができる。 ②社会情勢の変化をえとえ自らの役割を自覚し行動できる。 ③規則に基づいた技術を持ち、新しい介護の知見や技術についても積極的に学ぶことができる。	①介護福祉士として役割モデルがとれ専門性が発揮できる。 ②社会情勢の変化をえとえ自らの役割を自覚し行動できる。 ③規則に基づいた技術を持ち、新しい介護の知見や技術についても積極的に学ぶことができる。
介護倫理	①地域における施設の役割を理解する。 ②これからの介護福祉士の役割と方向性について理解する。 ③施設に求められる人材を理解する。 ④介護技術について学習する。 ⑤介護福祉士の基礎知識について学習する。	①症状、苦痛のアセスメントと介入について学習する。 ②これからの介護福祉士の役割と方向性について理解する。 ③施設に求められる人材を理解する。 ④介護技術について学習する。 ⑤介護福祉士の基礎知識について学習する。	①症状、苦痛のアセスメントと介入について学習する。 ②リーダーシップについての学習を行う。 ③感染症に関する学習を行う。 ④介護分野の倫理的な諸問題に気づき他者と意見交換をして問題解決につなげることができる。	①症状、苦痛のアセスメントと介入について学習する。 ②リーダーシップについての学習を行う。 ③介護分野の倫理的な諸問題に気づき他者と意見交換をして問題解決につなげることができる。	①インフォーマル・ドメインにおける介入福祉士の役割が果たせる。 ②介護分野の総合的理解ができ、かつ介護福祉士として講義を行うことができる。	①自己の倫理観をロカカルに構築し、説明することができる。 ②利用者の生命観、死生観、倫理観を尊重し介護福祉士としての倫理観を確立する。
アドバンス項目	①自ら指導と助言を求めチームメンバーとして役割を自覚する。 ②法人の組織形態、サービスについて理解する。 ③報告・連絡・相談の経路を理解する。	①施設福祉部の年度目標を理解し意識して実行に繋げられる。 ②日勤の組織的役割が遂行できる。 ③役割、委員会の要求される役割を遂行できる。 ④感染症に関する学習を行う。	①施設福祉部の年度目標を理解し意識して実行に繋げられる。 ②役割、委員会の仕事を確実に遂行できヒキキや、ベージュの手法となる。 ③自分のポジションを理解し、リーダーやマスターの不足部分をサポートできる。 ④介護の経済性(無罪・無駄・ムラ)を考慮することができる。 ⑤館内清掃管理を積極的に行える。 ⑥物品の重要性と取り扱いに配慮でき、そのことをヒキキや、ベージュに指導する。	①施設福祉部の年度目標を理解し意識して実行に繋げられる。 ②役割、委員会の仕事を確実に遂行できヒキキや、ベージュの手法となる。 ③自分のポジションを理解し、リーダーやマスターの不足部分をサポートできる。 ④介護の経済性(無罪・無駄・ムラ)を考慮することができる。 ⑤館内清掃管理を積極的に行える。 ⑥物品の重要性と取り扱いに配慮でき、そのことをヒキキや、ベージュに指導する。	①役割、委員会の指導的役割を遂行担当を受け持つことで円滑にシステムが稼働することを支援する。 ②介護業務の円滑運営のための管理者を補佐できる。 ③広く施設外にネットワークを持つ。	①所属を超え、施設福祉部や法人から求められる重責の重い役割と成果(委員長管理職等)を遂行できる。 ②施設福祉部の円滑な運営、法人運営のために他部署との調整、交渉ができる。 ③広く施設外にネットワークを持つ。
管理能力	①時間を意識して仕事に臨める。 ②業務の優先度を考え、時間内に仕事を終え備えることができる。 ③コスト意識を持って物品の取り扱いができる。	①一日の業務では効率性のとれた動きができる。 ②館内清掃管理を積極的に行える。 ③物品の重要性を認識し取り扱いに注意できる。	①介護業務における経済的、効果的側面から意見を述べることができる。 ②館内清掃管理の責任を受け持ち率先して清掃活動に参加できる。	①介護業務における経済的、効果的側面から意見を述べることができる。 ②館内清掃管理の責任を受け持ち率先して清掃活動に参加できる。	①介護業務における経済的、効果的側面から意見を述べ、改善の推進者となることができる。 ②労働基準法について学習する。	①時間内に業務終了できるようにシステムを考案することができる。 ②コスト管理が徹底できるようにシステムを考案することができる。
対人関係構築能力	①リスクマネージメント委員会マニュアルを理解、熟読する。 ②マニュアルに沿ってヒヤリハット、アクシデントレポートを指導を受けながら記載できる。 ③社会人としてのモラルを身につけられる。 ④自分の思いや考えを他者に伝えられる。 ⑤また他者の意見をよく聞き尊重することができる。 ⑥困っていることや悩みについてPSに相談と助言を求められることができる。	①介護事故防止、危険予防のための観察ができ、その対策が実践できる。 ②設備関係のトラブルがおきた時、指示をうけながら対応ができる。 ③正しい言葉使い、接遇ができる。 ④自分の感情がコントロールできる。 ⑤チームワークを意識した言動がとれる。 ⑥ビギナーの心理を理解し精神的なフォローができる。	①介護事故防止、感染防止のために環境整備や物品管理ができる。 ②セクションでリスクマネージメントが推進できる。 ③設備関係のトラブルに対処できる。 ④相手尊重し、自分の考えを話すことができる。(アサーティブコミュニケーション) ⑤自己の感情がコントロールでき、相互理解が調整できる。 ⑥他者のトラブルを回避するための働きができる。 ⑦ミドル以下の心理を理解した上で、組織として何が必要かを指導できる。	①セクションにおけるリーダーの立場としてメンバーの立場や人間性を尊重し人間関係を調整できる。 ②他者のトラブルを回避するための働きができる。 ③ミドル以下の心理を理解した上で、組織として何が必要かを指導できる。	①感染症対応に際して他職種と連携してリーダーシップをとれる。 ②リスクマネージメント委員会に属し、システム熟知に繋げる。 ③他職種と同等な立場で意見を述べ、お互いプロフェッショナルとして議論ができる。 ④チーム全体の雰囲気や良好なものになるよう積極的に活動できる。	①感染症に関するマニュアル策定、システムの見直しを他職種と連携し実行する。 ②リスクマネージャー以上の知識と技術を持ち、リスク全般において責任と実力を兼ねてこなす。
教育・研究能力	①自己の介護を振り返り、できることできないことを明確にして不足部分を学習できる。 ②日常の介護実践において介護とは何かを思考することができる。 ③日常の介護の中で疑問や問題意識を持つことができる。	①学習課題を明確にし、アドバンスシステムに積極的に参加することができる。 ②介護実践を通して自己の介護観を表現できる。 ③担当利用者の疾患について調べ疾患について説明ができる。 ④プリセプターとしてビギナーの指導ができる。	①自己の教育活動に積極的に取り組むことのできる。 ②勉強会を、検討し開催することができる。 ③専門プログラムを運営し、興味を持って深く学ぶことができる。 ④施設研修に積極的に参加し、その内容をセクション内に伝達できる。	①自己の教育活動に積極的に取り組むことのできる。 ②勉強会を、検討し開催することができる。 ③専門プログラムを運営し、興味を持って深く学ぶことができる。 ④施設研修に積極的に参加し、その内容をセクション内に伝達できる。	①自分より下の階層に対する教育活動について指導的な役割を実践することができる。 ②専門プログラムを運営し、専用のテキスト・トポックスを作成することができる。 ③施設外研修に積極的に参加し、部署内で活用することができる。	①アドバンスシステムのカリキュラムに改善と訂正を加えることができる。 ②アンジェイターとして活動することができる。 ③専門プログラムを発表、講義することができる。 ④施設外研修に積極的に参加し、部署内で活用することができる。

Advance system a schedule 2009

Produce by Edel tutiyama.com

Edel PriDE

研修名	対象者	担当者	第1クール			第2クール			第3クール												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
ビギナー	新人職員 卒業1年目	廣岡・井上	新人研修	フォローアップ研修																	
			入職前2週間																		
			フォローアップ研修																		
			フォローアップ研修																		
介護実践能力	ベーンック ミドル	廣岡	ケアプラン学習研修																		
			フォローアップ研修																		
			フォローアップ研修																		
			フォローアップ研修																		
			フォローアップ研修																		
			フォローアップ研修																		
			フォローアップ研修																		
			フォローアップ研修																		
			フォローアップ研修																		
			フォローアップ研修																		
介護備理	ベーンック ミドル マスター	廣岡 井上	介護福祉士の基礎的理解																		
			①食事介助																		
			②排泄介助																		
			③入浴介助																		
			④移乗介助																		
			⑤緊急時対応																		
			⑥介護記録の作成																		
			⑦介護福祉士の役割																		
			⑧介護福祉士の将来																		
			⑨介護福祉士の倫理																		
管理能力	ベーンック ミドル マスター	廣岡 井上	リーダーシップ研修 I																		
			リーダーシップ研修 II																		
			リーダーシップ研修 III																		
			リーダーシップ研修 IV																		
			リーダーシップ研修 V																		
			リーダーシップ研修 VI																		
			リーダーシップ研修 VII																		
			リーダーシップ研修 VIII																		
			リーダーシップ研修 IX																		
			リーダーシップ研修 X																		
教育・研究能力	ベーンック ミドル マスター	廣岡 井上	介護福祉士の基礎的理解																		
			①食事介助																		
			②排泄介助																		
			③入浴介助																		
			④移乗介助																		
			⑤緊急時対応																		
			⑥介護記録の作成																		
			⑦介護福祉士の役割																		
			⑧介護福祉士の将来																		
			⑨介護福祉士の倫理																		